

第5回吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会 会議録

I.開催日時 令和6年3月24日14時00分～15時30分

II.開催場所 吉野町中央公民館 5階閲覧室

III.出席者（敬称略）

①委員

1番	金野幸雄	2番	杉中泰則	3番	中川幾郎	4番	東健二郎
5番	皆地良祐	6番	北岡信夫	7番	山本春洋	8番	西浦正明
9番	内仲勝弘	10番	坂西保夫	11番	辻 秀昭	12番	澤木久美子
13番	平野湊太郎	14番	上田聡志				

※2番 杉中泰則、4番 東健二郎は、Zoomにて出席

※欠席：15番 大谷 唯、16番 中西由佳

②吉野町

副町長 和田圭史

《事務局》

総務課長 辻中哲也、課長補佐 中 武史、主任 峠 香織、主査 村上祐介

③会議録作成（株式会社福本設計）

小寺弘泰、南 匠充

IV.次第

1.開会

2.中川委員長 挨拶

3.議事

①会議録署名委員の選出について

②第4回審議会の論点の整理 ～事務局より～

4.閉会

V. 会議録

0. 開会前 事務連絡	
事務局 (村上)	<p>皆さん、こんにちは。定刻まで数分ございますが、本日も会議に入ります前にお手元の会議資料のご確認をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の配布資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・【資料 16】 <p>以上が、本日の会議資料となっております。委員の皆様方、資料の不足等は、ございませんでしょうか。</p> <p>なお前回同様、会議録の作成の為、ご発言につきましては録音をさせていただきますのでご了承下さい。</p> <p>また中川委員長が電車関係で到着が遅れるとご連絡いただいておりますので、ご了承いただければと思います。それでは定刻までしばらくお待ちください。</p>
1. 開会	
事務局 (村上)	<p>定刻となりましたので始めさせていただきます。本日の出席委員は 14 名で、委員総数 16 名の半数以上のご出席をいただいておりますので、要綱第 6 条第 3 項の規定により、会議が成立することを先ずご報告いたします。</p> <p>それでは「第 5 回吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会」を開催させていただきます。</p> <p>本日、皆様方にはご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。総務課の村上です。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお大谷委員、中西委員から、本日所用のため欠席の旨のご連絡をいただいております。また杉中委員、東委員はオンライン参加のご報告をいただいておりますので、併せてご報告させていただきます。</p>
2. 中川委員長 挨拶	
事務局 (村上)	<p>それでは開催に先立ちまして、中川委員長よりご挨拶をいただきます。</p>
中川委員長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>体が平日に戻っておらず、日曜日だと思い込んでしまい本を読み続けて、気が付いたら昭和町まで乗り過ごしており、ハラハラしながらここまで各駅停車で来た状態です。</p> <p>とは申せ、本日も大変大事な会議でありますので、皆様方のご審議のご発言、ご論議をいただきたいと思っております。今まで様々な論点がありましたが、その論点のご知見を各分野の先生方にたくさんお話をいただきました。</p>

	<p>それらを踏まえた上での、ご意見を賜ります。従来とは少し違う掘り下げが出来ていると思いますので、その上でご意見を賜れたら嬉しいなと思います。</p> <p>それでは、早速審議に入りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局 (村上)	<p>中川委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここから議事の進行を中川委員長にお願いします。</p>
3. 議事 ①会議録署名委員の選出について	
中川委員長	<p>それでは「次第3 議事」に入ります。</p> <p>「議事① 会議録署名委員の選出について」でございます。</p> <p>事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局 (村上)	<p>それでは、事務局よりご説明させていただきます。</p> <p>要綱第9条の規定に基づき、第5回審議会の会議録署名委員につきましては、上田委員、北岡委員にお願いいたします。</p> <p>なお、会議録につきましては、調整次第、各委員の方々にご確認いただいた後、吉野町HPで速報版として公開させていただく予定です。</p>
中川委員長	<p>それでは、第5回審議会の会議録署名委員については、事務局からご発表の通り、お二方をお願いします。</p>
②第4回審議会の論点の整理 ～事務局より～	
中川委員長	<p>続いて、「議事② 第4回審議会の論点の整理」でございます。</p> <p>事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局 (辻中課長)	<p>本日お渡しさせていただいた資料をご覧いただきたいと思います。</p> <p>皆様方で事前にお見通しいただいていると思いますので、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>まず「第4回審議会の論点の整理」ということで、1ページ目に『庁舎機能の「分散化」と「集約化」について』、『「平常時」と「非常時」の庁舎のあり方について』、そして『これまで検討した重要な論点』について、まとめさせていただきました。</p> <p>2ページ目、『庁舎機能の「分散化」と「集約化」について』ですが、これまでの審議内容である災害対策や行政サービス、持続可能なまちづくりを踏まえた上で、本町で求められる庁舎機能とはどのようなものなのかを分散型と集中型のメリット、デメリット比較や検討することが求められます。また、分散型と集中型にも複数のパターンがあり、それぞれの想いやイメージを共有する必要があるのではないかと考え、まとめています。</p> <p>3ページ目『庁舎機能の「分散化」と「集約化」について』ですが、まず「分散型」の例を挙げています。①多極分散型は、各課が各地域の分庁舎に分散配置される形式で、現在既に長寿福祉課、暮らし環境整備課、広報広聴室、スポーツ</p>

振興室等が分散配置されています。また②地域アウトリーチ型は、役場職員が各地域の施設に出向き、町民が本庁舎まで行かなくとも住民サービスを受けられるような形式ですが、具体的なサービスは、今後住民のニーズを調査する必要があります。

続いて、4ページに「集中型」について、まとめています。①一部集中型は、先程の分散型①と同じような形ですが、現本庁舎（上市）に所属している課を1か所の庁舎に集約される形式で、先程申し上げた長寿福祉課等はそのまま分散配置する、あるいは全課集中型ということで、分散している課も含め1か所にまとめる方法がありますが、今後どうするかを検討が必要です。

また、もう1つの整理としまして、5ページ『平常時と非常時の役場のあり方について』ということで、災害対策等をする場合に1箇所に集中させる「集中型」は、指示系統が行き渡りやすい等のメリットがある反面、被災すると公助の機能が果たせなくなることに繋がります。あるいは、情報を一元化した上で一定の分散化を図り、出張所拠点を置く「分散型」は、リスク分散することで1拠点が被災しても、他の拠点到災害対策機能を設けられる等のメリットがありますが、情報統制や災害対応力が分散するデメリットがあります。

それぞれにメリット、デメリットがありますので、二者択一ではなく、実情に応じた最適解を見つけることが重要です。

そして、6ページ「これまで検討した重要な論点」ですが、第4回審議会で金野委員より、庁舎移転というインパクトのあるこの機会を利用し、どのようにまちづくりに活かしていくかについて、具体的な提案がありましたが実現に向けた可能性について深掘りする必要があるのではないか、あるいは違う意見等いろいろ出てくるかと思えます。

また東委員から行政サービスの変革を踏まえた庁舎のあるべき姿とは、どのようなものかについて、説明していただき、DXを活用することで今抱えている問題が解消され、行政手続きを様々な形で提供することが可能ではないかと整理しております。

また本町の財政面を踏まえた庁舎整備を検討する必要があるということで、第1回審議会から皆様よりご指摘もありましたが、限られた予算で初期費用あるいは維持管理費用をできるだけ抑えて、未来の世代に負担を残さないように配慮することを念頭に置くことを整理しております。

7ページからは補足資料です。

8ページに、『現・庁舎の分散配置状況一覧』を記載しています。地図イメージ

	<p>をつけていますので、大体の位置関係等のイメージが湧くかと思います。</p> <p>9 ページは、『「分散型」と「集中型」それぞれのメリット、デメリット』について、整理しています。青文字は、これまでの審議会の発言から該当する項目に事務局が整理した内容です。また黒文字は、HP 等に出ているような内容やこういう事も考えなければならないのではないかという一般論の内容を事務局案として一旦整理していますが、これが正解分の表ではございません。本来はここに何も書かず白紙の状態、本日皆様に意見を出していただくことをお願いするのですが、何もない状態で始めると逆戻りもありますので事務局で一旦整理し、これは違うのではないかということで削除する、あるいはこういう考え方もできるといふ風に付け加えの作業等、ご検討いただけたらと思います。</p> <p>そして、10 ページに『主な所有の町内の遊休施設』について、施設リストを添付しています。空いている施設や所有施設ではあるものの土地が借地部分である場所を整理しています。参考として、右側の表に「地域及び民間活用施設」について書かせていただいております。1 個抜けておりますが、中荘の小学校(旧吉野町立中荘小学校)が、現在野外活動センターとして使われており、ここも付け加わるイメージをしていただけたらと思います。</p> <p>事務局からの説明は、以上でございます。</p>
中川委員長	<p>ありがとうございます。今、このような形で一定の資料整理をしていますが、これに補足する、もしくは追認することで構いませんので、有識者委員にそれぞれ補足等について、ご発言いただいた後、委員の皆様のご論議にしていきたいと思っております。それでは、まず金野委員からお願いします。</p>
金野委員	<p>資料ありがとうございます。</p> <p>前回お話した通りですので、特にございません。</p>
中川委員長	<p>それでは、オンライン参加の杉中委員より順番にコメントをお願いします。</p>
杉中委員	<p>私は、防災対策と行政の経験者としてこの審議会に参加させていただいていますので、その視点から所感を申し上げます。本日の資料で、今までの議論について概要をまとめていただいていると思いますので、概ね意見は一致しています。</p> <p>まず庁舎は、分散化がいいのか、集約化がいいのかについては、庁舎の場所がどこかいいかではなく、いかに行政サービスが提供・確保されるか、に目を向けることが重要だと思います。</p> <p>また庁舎の場所と利便性のトレードオフが生まれますが、それはデジタル・DX の活用で、ある程度カバーできるのではないのでしょうか。但し、高齢者の皆様等、デジタルの活用が難しい方への配慮が必要になると思います。</p> <p>それから行政窓口の確保の方策として、分庁舎や郵便局、コンビニ等の活用アイデアが示されていますが、まちづくりの推進に伴う空き家の活用等、様々な手</p>

	<p>段が考えられると思います。</p> <p>整備コストに関しては、次の世代にも関わる重要な課題です。資料でもまとめておられる複数のアイデアに関するコスト比較は、慎重に進める必要があると考えます。</p> <p>それから災害時に関してですが、災害時に市町村は、地域の災害対策業務の司令塔の役割を担います。情報や交通の寸断リスクがある中で、関係者が情報を共有し、首長の指示の下で、効率的に議論を行うためには、災害対策本部に関係者が集結できることが理想だと思います。これは、能登の例や帰ってきた職員からもそのような話を聞いています。</p> <p>ただ、必ずしも役場庁舎に、その役割が備わることが必須かという点、そうではありません。例えば、公民館等を非常時に使えるようにする方策でも対応は可能かだと思います。</p> <p>最後になりますが、第4回審議会の議題にありましたまちづくりの視点が大変重要だと思います。現役場を含むエリアは、昔から吉野の中心地であり、歴史的にもポテンシャルが大きいと考えています。子ども時代は、上市の初市が1年で一番の楽しみでもありました。新庁舎の場所に関わらず、それを生かしたまちづくりを行うことは、地域の発展に欠かせないと思います。</p> <p>吉野町には、世界遺産の大峯奥駈道というものがあります。吉野から熊野を目指す逆峯のスタート地点は、六田地区の柳の渡しなのですが、そこから吉野山に至る一之坂のルートは、現在、荒れ果てており、通る人もいない状況です。世界的に認知されたルートがこのような状態だということは、地元の人間として、非常に寂しい思いをしています。子どもの頃は、橋屋地区の実家の前を山伏の装束をした一行がたくさん行き交われる姿を見た記憶があります。</p> <p>そのような歴史資産を活かす方法も何かまちづくりの中で考えられないのか、と個人的に思います。</p>
中川委員長	ありがとうございます。それでは、引き続き東委員、よろしくお願いいたします。
東委員	<p>今回もオンラインで失礼します。3点コメントさせていただきます。</p> <p>まず1点目として、分散型と集中型についてメリットとデメリットを整理していただきました。この整理について、違和感はありません。資料のP.9に強調されている通り、一旦整理した上で比較しながら、みんなが合意できる答えを目指すことが大切です。それは、「総論賛成・各論反対」でもなく、皆さんがそれぞれ妥協する訳でもありません。それぞれが思う所を十分議論していくことが大切だと思います。これは、「分散か集中か」のどちらかを採用するかというような二者択一の世界ではありません。</p> <p>第3回審議会に私も申し上げた通り、デジタルによる行政サービスの変革とは、例えばデメリットがメリットに転じ得るような取組みとして取り上げられる事柄です。デメリットが多いからやめようではなく、それをメリットとして活かすには、どうしたらいいかを将来に向かって考えることが大切だと思います。</p>

ただし、資料にまとめられている内容について、例えば、所属別やサービス内容、あるいは町民や事業者にとって、そのようなサービスや働く職員の姿がどのように受け取られているのか等の定性的なところは、より具体的に細かく分けて考えないといけないと思います。

つまり、役場の仕事は、多様であり、限られた体制ではありますが、多くの職員がおり、町民にサービスを提供します。何か大きな「あるべき論」で全部決めることでもないし、かといって全ての業務について、議論を尽くされないといけないわけでもありません。ある程度、類型化し、もう少し細かく見た上で、例えば、それが分散されたらどうなるか、集中することによりどうなるか、のようないくつか類型を考える必要があると思います。

そうした観点から類型を考えますと、例えば、これまで資料をお示ししていただいている手続き件数を基準で見て、「数が多いかどうか」というのは1つあると思います。また、数が少ないですが、町民や事業者にとって、それがきちんとできないとクリティカルに深刻な影響を受けるようなものが区別の中にあると思います。

手続きが多いものであれば、デジタルによって、効率化を図ることや今まで出来なかったことがもっと出来るようになります。処理速度も上がり、町民目線だと、手続きにかかる時間が相当短くなることや何回も行かなくていい等の効果があります。このように、その数が多い手続きは、分散・集中でどのような形でできるかを考えることが挙げられます。

あるいは、一見、数が少ないので見落とされがちですが、それが上手く出来なくなると、相当深刻であるような内容も審議会できちんと見定めておく必要があると思います。

その典型的な話が、災害時です。わが国でもすでに顕在化している課題でありながら、平時にイメージしにくいことです。しかし、これは今回のように役場の大転換となるような時に、改めて事業内容を見直すことや具体的な訓練を実施し、本当にできるのかを現状の体制で見定めることが、こうした検討の中に入る必要があると思います。

2点目がアウトリーチについてです。この整理の仕方としてイメージされているものは、現場に出向いて行くような話でした。私の説明の時にもあった鹿児島県の肝付町です。動画でお示しましたが、気を付けていただきたいのは、現場に出向く職員だけがアウトリーチ型ではありません。分かりにくいと思うかもしれませんが、説明時に言いたかったことは、各職員が自分の持ち場で最大のパフォーマンスを出すためにデジタルの力を借りましょうというお話でした。動画では現場に出向き、問診等されている方が出ていたと思いますが、そこが自分にとっての現場です。役場に戻らなければ、他の連絡調整の事務や書類が書けないのではなく、あるいはスケジュール調整しなければ、会議ができないのではなく、オンラインで行い、書類も共同で編集すれば、自分の持ち場で仕事のパフォーマンス

スを最大限上げることができるので、これはすごく良いことだとおっしゃられていたと思います。

現場に出ず、役場で座って仕事をされる方も、そこが現場です。手続きがオンライン出来るようになり、町民が役場に来ない状況になったとしても、「目の前にいないから楽だ」「実際に来てもらわないとわからないことがあるから楽にならない」ではなく、それぞれ自分の持ち場で、どれだけ町民や事業者のことを考えられるかという仕事の向き合い方がアウトリーチ型という形で、もっと強調されてしかるべきかと思います。

つまり、現場に出る人だけで、サービスが成り立つと考えるのではなく、アウトリーチ型の行政サービスは、すべからず職員やサービスの受け手である町民・事業者にとって、それぞれ自分ごと化になるべき事柄だと思います。

3つ目は、庁舎のスペースの話です。追加資料を出していただいておりますが、結局、物理的にどうするかは、最後決めの問題だと思います。これまでの議論で、周辺の空き家活用も含めて、どのくらいスペースがあるのか明らかになりました。これは議論を進めていけば、決めていける内容の話だと思います。

ただし、講演の時に話したポイントの1つが、「時間を活用しましょう」ということです。集中型あるいは分散型、いずれになるとしても、実際に体制が変わるまでの時間で、どのようなシフトチェンジするのか、変わっていく時の試行的な取組みを具体的に考えることです。

空き家を使ってみるのであれば、何の事業に使うかを、可能な限りお示しする必要があります。それは、職員側では、自分の働き方が一体どのように変わるかを具体的に考えることになります。この点では、職員と役場の調査等で、これまで仕事のやり方を抜本的に見直し、検討を進められ、職員から各種提案をされていますが、まだ形になっていないものがあると伺っています。ですから、そのような取組みを後押しする話として、審議会でも、仮にそのような取組みがあるとすれば、「それはもっと進めるべきだ」というメッセージを出す必要があると思います。

「業務効率を上げて、コストを下げる必要がある」という意見をお持ちの委員もいました。「より良い環境で、職員が仕事をして欲しい」という意見もありました。この2つは言い方は違いますが、同じ所を見ているのではないかと、これまで繰り返し、強調されて来たと思います。既に役場の中で議論があるものは、どう具体的に進めるかということ、また所属やサービスの内容により違うところもあるため網羅できないかもしれませんが、出来るだけ類型化しつつ具体的に考えることが必要だと思います。

さらに付言すると、講演の後の議論の際に「インターネットが途絶した時に、何もできなくなるのではないか」という話がありました。吉野町内で使えない状況が仮にあっても、インターネットが全世界で止まるような事態が起こる可能性は少ないと思います。例えば、今般の能登では、罹災証明の発行の手続き等が現

	<p>場で出来ない場合は、遠隔地で代行して、実施する試みが行われています。今後も、吉野町に限らず、他の支援する自治体が手続きを代行するような世界は、やってくると思います。</p> <p>したがって、仮に吉野町内でしばらく通信途絶が起きた場合に「システムが使えないからデジタル化はダメだ」という考えではなく、それをどのように代替するかという観点で考えれば、補えると思います。その点だけ付け加えさせていただきます。</p>
中川委員長	ありがとうございます。今お二方ご発言いただきましたが、それを聞いた上で金野委員から整理するような形で何かご発言ありますか？
金野委員	特にございません。
中川委員長	<p>わかりました。それでは、お三方のご意見を聞かせていただき、なおかつ本日解説を聞いた上で、皆様方のご助言を賜りたいと思います。</p> <p>ここから先1ラウンド目は、必ず全員発言していただこうと思いますが、1人が延々とお喋りになりますと後の方の時間がなくなることを考えていただき、長くても3分以内に所見をまとめていただきたいと思います。順番は澤木委員からスタートします。タイムキーピングしますので、3分超えたら警告し、止めていただきます。それでは、よろしくお願ひします。</p>
澤木委員	<p>事務局に上手くまとめていただいたので、論点の整理が出来ている中で、現状分散していることに関しては、それぞれ理由があると思います。逆に、分散していることにより、問題が起きているのであれば、知りたいです。</p> <p>災害対策機能が、なるべく集中することも大事だと思いますが、そのためだけに一極集中を目指すことは、私は違うのではないかと思います。私は、それぞれの現状の問題を具体的に把握できていない部分があります。現状の分散で、何か問題があれば知りたいと思います。</p>
中川委員長	<p>大事な論点だと思います。ただ今の意見について、コメントを挟みます。</p> <p>これは、私も同感です。現在、分散化している実態があり、何らかの理由があるのではないかということです。これは、今後のために、一度資料整理するという事で、保留にして、よろしいですか。各部局がばらばらなので、今、この場で答えるのは難しいと思います。ただ、資料化する必要があると私は思います。それでは平野委員、お願ひします。</p>
平野委員	<p>まず委員に配られた厚い資料の中で、今の役所に対する利便性や不満な点が記されています。この現庁舎で一番不満な点は、駐車場のスペースがないことです。</p> <p>加えて行政のアンケート調査で、役所を利用する人は1年間に数回しかいない人が圧倒的に多いです。ほとんどの人が車で来るため、駐車場のスペースがないことに不満であると意見が出ています。これをまず問題解決するとすれば、現庁舎に建てられないことに自動的になると思います。そうしますとコストの面からも『吉野北小学校』の利用になるのではないかと思います。</p> <p>それと今までの議論を振り返り、前回の議論から意見を申し上げますと『吉野</p>

	<p>北小学校』に中心的な役所を造り、分散型として各地域に出張所を配置し、高齢化対策やその地域住民の幸せづくりのお手伝いをするような施設を配置してることが理想だと思います。</p> <p>そこで、本日の資料にある現在の町内遊休施設を活用していくか、活用できるのか、細かく正確に議論する必要があります。</p>
中川委員長	ありがとうございます。それでは上田委員、どうぞ。
上田委員	<p>いろいろなお話を聞かせていただいている中ですが、私が思う率直なコメントです。物事の進め方、考え方をいかにシンプルに組み入れていくかが全てだと思います。要するに考える時間がもったいないということです。1人が1分考えるようなことを、10人いたら10分の考える時間が掛ります。これをいかに解決するかが、物事の組み方の根本になると思います。この考え方に当てはめた私なりの答えですが、皆さんから集中型か分散型かについて、いろいろコメントが挙がっています。集中・分散、いずれにしても、どこに何があるか、町民並びに役場の方が一目瞭然であれば、どちらでもいいのではないかという意見です。</p> <p>しかし、それに至るまでに、どのような準備をし、どのような組み方をすることがしっかり整えば、どちらでも機能します。逆に、疎かになれば、どんなに素晴らしい庁舎を造っても、機能しなければ一緒です。そこに至るまでの組み方が全てだと思います。要するに、どのように組み上げるのか、そこをいかに練り上げるかがポイントになると思います。具体的に、どのような組み方をするかについては、私の範疇でお答えできませんが、シンプルかつ簡潔に組み上げることが最大の要点になるのではないかと考えながら、お話を聞いていました。</p>
中川委員長	ありがとうございます。辻委員、どうぞ。
辻委員	<p>現在の本庁舎は耐震化が進んでおらず、非常に危険です。職員や来庁している町民がいる時に災害が起きると大変です。また、周辺に建物が密集しており、火災等様々な災害に巻き込まれやすいため、耐震性があり災害に強い建物を、安全な場所に建てるのがおおきな柱だったと思います。</p> <p>資料にある日常と非日常という内容についてです。各地で災害があったとし、集中型だと被災すると機能なくなり、分散型であれば、どこかが残るだろうということが書かれていました。</p> <p>耐震で一番強いと私が思うのは、耐震基準で新しく建てた建物（旧吉野北小学校）です。</p> <p>それに対し、この建物（中央公民館）は耐震補強をしています。私が聞いた建築の専門家の話によると、極端にいえば、この耐震補強の建物は壊れるまでの時間が長くなるだけだということでした。</p> <p>ですから安全ということで考えると、吉野北小学校は全く安全だということが1つあると思います。</p> <p>それからもう1つは、コスト面です。先日よしのこども園を8,000～9,000万円で工事をしたとお聞きしましたが、たくさんのお金を使っています。吉野町は</p>

	<p>将来に多くの負債を残しており、県内市町村の中でもしんどい方だと聞いています。ただ、耐震補強は、県内市町村の中でもほとんど進んでいないのが現状で、これから様々な施設の耐震補強をしていかなければいけません。そういうコスト面も考えれば、今ある施設を活用することが大事ではないでしょうか。</p> <p>それからもう1つの視点は、広い駐車場が必要ということです。そのことをまず押さえ、各論について進めていければいいと思います。</p>
中川委員長	ありがとうございます。坂西委員、どうぞ。
坂西委員	<p>私は、新庁舎を一部集中型の施設にするのが一番いいと思います。</p> <p>現庁舎の耐震性は低いため、早くどこかへ新庁舎を造り、移さないといけません。それからアンケートの中で、駐車場が少ないことは、一番大きな不満だったと思います。駐車場の問題を解決するのであれば、広く空いている場所に行かなければいけません。</p> <p>そういうことから、今、私が思うのは、現庁舎にある機能を吉野北小学校の跡地へ移すことが一番いいと思います。</p>
中川委員長	ありがとうございます。では内仲委員、どうぞ。
内仲委員	<p>最初の審議会から話をしていましたが、これまで先人の皆様がまとまり、上市という地を選んだ意味をよく考えますと、川の流れて沿って、道がここに集い、上市という場所、名前が残っていることが、私はずっと気になっています。</p> <p>今はありませんが、昔、上市の旧街道であった「たてやま」で、各組の方が様々な物を作り、見ていました。60年以上前ですが、その思い出も頭の隅から離れません。この上市が選ばれたのは、先人の大変な努力があつてのことかと思えます。</p> <p>60年前、中学校が統合することで、私の年代の国栖地区は、むしろ旗を立てて、上市の駅で親達が、反対の声を挙げていたことも経験しています。</p> <p>しかし、今の状態を見て、先人の皆様が吉野町の10分の1の人口になる上市に、吉野のあの場所に学校も築いていただきました。それが、頭の隅から離れていません。川上に新しく小中学校が、林業高等学校の跡地にできましたが、それも大変な財力を使っています。少ない子ども達のためですが、教育にお金をかけています。それもこの川筋、人、車の流れが関係していると思います。</p> <p>このようなことを考えると、上市の地で何とか出来ないかと思えます。私どもは、東吉野と川上の入り口の国栖ですので、吉野町の一番端です。その中でいつかなるかも分からない町村合併や統合等が出てきた場合に、吉野町の要になる場所が、とても大事な場所になる気がします。</p> <p>8,000万以上の予算が認められ、吉野町も吉野小学校の様々な費用として、ようやく通ったと思います。吉野小学校の本棟に限らず、横にある体育館やプール等で、あれだけの場所がありますので、もし吉野町が今後利用できるのであれば、新庁舎も考えられると思います。駐車場も十分取れると思います。いろいろなことを考えています。</p>
中川委員長	ありがとうございます。西浦委員、どうぞ。

西浦委員	<p>今更な意見かも分かりませんが、このような審議会は 20、30 年、さらに先を見据えた会議であると思います。そのために固定観念は、絶対捨てなければならぬと思います。今までこうあったではなく、これからの吉野が大事です。</p> <p>ただ歴史を切り捨てるのではなく、大事にしなければならぬと思いますが、新たな吉野を作ろうと思うと、新たな吉野という発想で、どこがいいのか、どういうやり方がいいのかという会議だと思います。ですから、私達年寄りが考えるより、若い人達の「これから吉野をどうしようか」という意見を大事にする方がいいと思います。また分散・集約も、実際に働く人が考えた方がいいと思います。</p> <p>兼務辞令が出るとこれまでと違い、あれもこれもしなければならなくなってくると思いますので、その時どうしたらいいかは、職員が考えるべきではないかと思ひます。第三者が考えるのはどうかと思ひます。</p> <p>要するにデジタル化や AI は、私達がどう言おうと、進んでいく時代だと思ひます。しかしながら、高齢者の中にはデジタルを苦手とする方もおられ、そのような事柄は、先のことを考えてバックして、どのような対応をするか検討すればいいと思ひます。今、そこを考えると、先に進まない気がします。</p> <p>まず 20、30 年先、もっと先を考えると、デジタル化や AI は当然あるべきです。そこにマイナンバーが使われる可能性もあるでしょう。管理化されるかもしれませんが、逆に管理してもらえることもあると思ひます。そのようなことを考えて、これからの吉野、新たな吉野を築くべきと思ひますので、その時にどこがいいか、どういう庁舎がいいかを考える方が上手く行くと個人的に思ひます。</p>
中川委員長	<p>ありがとうございます。それでは山本委員、どうぞ。</p>
山本委員	<p>前回の審議会で、分散型の整理ができたかと思ひていたのですが、現・庁舎分散型配置状況一覧を見て、多く分散していると思ひました。この分散している施設を今まで以上にネットや通信回線、その他備品を揃えることで、有効に活用していけたら、十分だと思ひます。もちろん様々な仕組みにより、集中させることや分割することもあると思ひますが、分散型はこれで十分だと思ひます。</p> <p>また現状を見てもらうと、吉野、上市、中荘、国栖で、ほぼ 2,200 世帯、人口約 4,300 人が居住しています。それから吉野北小学校がある地区は、中竜門、竜門で 950 世帯、人口約 2,000 人、前者のほぼ半数ぐらいです。</p> <p>ご存じだと思ひますが、吉野北小学校の周囲は、昔の立派な家屋が多く残っていますが、空き家や太陽光が増えている状況の町です。これから 10、20 年先にこの地域がどうなるのでしょうか。</p> <p>それと吉野北小学校という良い場所に、どのような意味で庁舎を持っていくのでしょうか。もっと吉野町の生産性を上げられる地域だと思ひます。例えば、道の駅や商業施設を誘致すれば、道路は広く、一日中陽の当たる良い場所ですので、なぜもっと商業施設や人口を増やすことや雇用を増やす施設にできないのかと思ひます。3 日に 1 回程あの周辺を歩きますが、もったいない場所と思ひます。</p> <p>それから、なぜ吉野小学校で具体的な検討が出来ないのでしょうか。災害面で</p>

	民間施設が利用すると危なく、民間施設が損をする場所は、利用しないので、そういう場所になぜ役場を持っていくのか疑問に思います。
中川委員長	ありがとうございます。北岡委員、どうぞ。
北岡委員	<p>何を話そうかと一生懸命考えていました。先日の金野委員のお話について、上市代表としてお話しさせていただきます。お話の中で、GATEWAYについてありました。それは非常に私自身、心強くお聞きした次第です。上市の現状を申し上げますと、先日、蛭子講のお祭りがありましたが、前年に比べ、多くの人に来ていただきました。そういう意味で、GATEWAYの立場を果たしつつあるかと思えます。少しずつですが、住民も入れ替わり、若返りつつあります。</p> <p>私が現在、住んでいます轟地区でこの前の日曜日、轟と立野の区民祭を催しました。そうしますと、区以外からも人が来ていただき、住民の2倍近くの方が来ていただき、まだまだ上市は活性化の余地、パワーが残っていると実感しました。</p> <p>本日いろいろな話を聞きましたが、吉野小学校の活性化・跡地利用の議論が議会も含め、全然進んでいません。先日議会で予算化され、これから論議される状況です。上市の活性化という意味では、吉野小学校をどのように利活用していくかは外せないと思います。いずれにしても、住んでいる身からしても、上市の存在感をぜひ取り上げていただけるような存在でありたいと思う次第です。</p> <p>もう1つ、今までの議論の中で予算等のお金の面が話し合われていませんので、議会に対し、まともな議論を全くしていませんので、しっかりしろという意見を述べたいと思います。</p>
中川委員長	ありがとうございます。それでは、皆地副委員長どうぞ。
皆地副委員長	<p>分散型と集中型については、今までの説明にあった通りで聞きますと、あくまでも行政目線です。行政目線を住民目線に置き換えて、こういうメリットがあるという話に過ぎないという感じがします。</p> <p>それと吉野北小学校の話で、市街化調整区域は、過去に私もどれだけ踏ん張っても、この話だけは成り立たず調整区域のままです。それから農業振興地域に該当するという話を聞いています。また過去に吉野町自ら市街化調整区域に決めて、県に報告した手前があるので、その変更は一切できないと聞いています。民間の住宅の建て替えであれば良いのですが、用途変更をして行くと、相当な時間がかかってきました。これは今後、特区を認められない限り、何十年経っても同じ結果になると思います。ですから、法律上の話ができないのであれば、せめて特区を何とか取れないかという話を昔からしてきました。</p> <p>また来年度、町会議員の選挙があります。私は区長をやっており、周辺住民から言われることがよくあるのですが、その席で住民投票をやってくれないだろうかという話が出ています。町民のために、という話の内容でこの審議会も起こっているわけですから、審議会そのものの大切さも十分承知していますが、それも間違った意見ではないと思います。1回の選挙で済みますから、町民が本音では一体どのように考えているのかも非常に大事な話になると思います。今朝の話で</p>

	<p>すが言われて、なるほどと思いましたので提案させていただきます。</p>
中川委員長	<p>ありがとうございます。今、出たご意見から、次に作業しなければいけないことも出てきたと思います。特に分散・集中という議論で、既に一部分庁舎化していること、それから災害時は、いわゆる機能を集中するだけではなく、一定程度の収容面積と集合面積が要ることは、共通理解になったと思います。但し、それが庁舎を集中的に移転の話とイコールになりません。この論議の共通整理も出来ていると私は思います。機能の問題と収容力の問題、土地面積の問題、それから集中化の問題は、それぞれ論点が少しずつ異なりますので、頭の中で混同しないようにして下さいという話です。</p> <p>ただ、分散している状態について、なぜ分散しているのかという実態を押さえておかなければいけません。分散する必然性があるならば、分散配置が大事だということを、次回までに整理が出来ればしておきたいと思います。それは各部局からヒアリングをすれば出来ると思います。</p> <p>後ほど金野委員にご助言を頂きたいのですが、前回も議論に出た市街化調整区域であることと、もし吉野北小学校に拠点を置くとすれば、どのような調整方法があるのか、ご見識を賜りたいと思います。</p> <p>それと、私はこういう論点が隠れているのではないかと思ったのは、以前辻委員からご発言があったと思いますが、それぞれの地区の産業発展等に関する視点はないのかという意見があったと思います。その件について、北岡委員もおっしゃいました。庁舎の存在により、産業の誘致力になると思われていると思いますが、今日、「庁舎があるから、産業が来る」の方程式が成り立つのでしょうか。それから、全く別ですが、工業誘致の可能性はどのぐらい考えられるかについて、ある程度のお答えを出した方がいいと思います。熊本県に、台湾から大きな会社が来たことにより、土地の値段が上がるような話を夢見ることは、少しかけ離れた話かもしれません。反対に、現代のネット社会では、小規模のコンピュータ関係企業が、どんどん田舎に拠点を置く実態もありますので、そういう所に活路を見出すことは、方法としてあるかもしれません。そこは一度、役場のご見解を整理していただきたいと思います。</p> <p>それと東委員からのご提起で、ある意味で分散か、集中かの議論をクリアできるのではないかとおっしゃったと思います。住民側のご意見や要望に応じ、どのようなサービスができるかという観点に加えて、職員側にしてみれば、庁舎にいないければ仕事ができないわけではありません。職員は、どのような拠点形成が出来れば、仕事ができると考えているかということも調べ直さなければいけないと思います。という意味で、悉皆調査でなく、職員の意識調査やモデル型でも構いませんのでインタビュー調査等、職員側の意見を聞く必要があると思いました。</p> <p>次回に向けて、そのぐらいの整理は必要かもしれません。</p> <p>それでは、都市計画法上の話等も含めて、金野委員、いかがですか。</p>
金野委員	<p>前回も申し上げましたが、市街化調整区域の問題について、新しいエリア開発</p>

	<p>や建物を建てる場合は、非常に問題がありますが、今ある建物を使うことを国交省も推奨しています。もちろん何の用途が来るかによります。その周辺の住民がどう受け止めるかということもあります。その了解が取れば、都計法上の問題は無いと思います。確かに農振も入っていますので、今ある物を使うということで、まちづくりをプランして行けばいいのではないかと思います。</p> <p>私自身、こちらに調査へ来させてもらった時に、「調整区域に庁舎を整備できるのですか」とお聞きしました。既に協議済みで問題もないと聞きました。だから吉野北小学校に庁舎の一部、または全部が行くことは、都市計画上の大きな問題にならないと思います。</p> <p>それともう1つ、委員長が言われた工場ですが、工場を誘致する時代ではないと思います。これからは、クリエイティブな人材をいかに地域に入れるか、どのように新しい価値観を持った若い人達を引き込むかに特化した方向性に向かうべきです。</p> <p>篠山でも、このような誘致の議論がありましたが、現在の工場は省力化されており、雇用が少ないことも1つあります。篠山の産業高校を出て、就職をする子が、そのような工場に行きたがらず、ミスマッチが起きています。工場で雇用を創出すれば、地域に子ども達が残ってくれるかという、そのような働き方を希望する子は少ないのです。</p> <p>そうではなく、生きがいを持って、楽しく価値創造ができるような生き方をしたいと思っていますので、そういう職種を吉野町に導き入れることも前回提案の中に込めています。特に小学校を活用する時に、工場を誘致する選択肢が1つありますが、いろいろな意味でよくありません。1つは今、申し上げました。もう1つは、明治以来のコミュニティーの中心であった場所（小学校）が空洞化したのだから、そこをもう一度コミュニティーが蘇るような機能を入れたいといけません。村人達が、もう一度、そこへ行きたいとなるようなものを作らなければ、コミュニティーが、どんどん薄くなっていってしまうと思います。工場が来るということは、村人が行かなくなりますので、そのような意味でも、良くないのではないかと思います。</p>
中川委員長	皆地副委員長、いかがですか。今の意見に対して、何かありますか。
皆地副委員長	金野委員がおっしゃった、国はそれを認めているという方向について、今は、民間の検査機関ですが、ほとんどが県職員の天下りになっており、2～3年前まで土木事務所にいた方に以前尋ねると、「そうはならない。聞いていない。」と言っていたので、私の頭の中で整理ができない部分があります。
中川委員長	それは、整理できる範囲にしましょう。
金野委員	そうしましょう。この前、申し上げたのは7年前のお話です。例えば、同じ時期に旅館業法が改正されています。しかし、我々がやっている分散型の宿を窓口に持っていきますと「これは駄目です。こういうものは許可できません。」ということが未だにあります。1件でもそのような実例ができて、手続き担当をした

	<p>人は気が付くのですが、法制度が変わっても、その経験がない人は、いつまで経っても昔の経験のままやってしまいます。</p> <p>つまり、その検査機関の方は、市街化調整区域を活用した事例がないということだと思います。この活用事例は全国にたくさん出来ており、通達も出ています。</p> <p>私どもは、そういう時に「こういう通達が出ています」と逆にお教えして、そこからキャッチボールが始まるという感じです。</p>
皆地副委員長	<p>他の委員は、この話がどこまでの話か分からないと思いますのでお尋ねします。</p> <p>従来の法律で、市街化調整区域に認められてきたのは、同じ用途の建て替えと、農家住宅、分家までが認められ、それ以外は特殊な物を除き、基本的に認められない状況かと思います。それが、用途変更のため開発事前審査に則っていけるのでしょうか。これは、この前、私が話しましたが、ある空き家の農家があり、その小さな納屋をパン屋に替えるために県庁へ尋ねました。そうすると、まず開発事前審査の承認を出して下さいと言われ、次に、開発ではなく、町全体の戸数を拾って下さいと言われました。恐らく、昔の50戸連担制度の話だと思いますが、それを調べた後に、「これは全部住んでいますか」と言われました。空き家が多いのは分かっている場所ですので、「空き家も多いです」と伝えると、その中で住んでいる家を調べるように言われました。パン屋1つ作るだけで、ここまでしなければいけないのかと思います。沿道サービスなら分かりますが、沿道サービスにならないので駄目でした。結局7カ月かかりました。手を抜いていたわけではありませんが、それぐらい難しい内容でしたので、簡単に喫茶店等に改造して、大丈夫なのか、また例えば、吉野町が空き家の斡旋（あっせん）をするのであれば、責任を持ち、変更されるように指導されているかについて、私は言いました。</p>
金野委員	<p>委員の皆さんも、それはおかしいと思っています。要は、国民の常識の方が優先されるべきだと思いますので、制度がおかしいのであれば直してもらえばいいです。「それはおかしいですよね」と言う方が正しいです。既に変わっている部分もありますし、頑張れば、制度が変わり、対処できると思います。</p>
皆地副委員長	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
中川委員長	<p>続いて、辻委員どうぞ。</p>
辻委員	<p>今、いろいろな専門的な話を聞きましたが、基本的に庁舎をどこにどういう形で造るかという問題と、それから上市地区や竜門地区をどう活性化させていくかは別物だと思います。ただ、将来的なことを考え、希望的観測からすれば、こうあるべきだと私は思います。</p> <p>それは、前回の審議会でも、丹波篠山や日高川町、大洲町、それから西会津町の発展について説明いただいたことに関係しています。丹波篠山は、舞鶴敦賀道が1988年に開通し、35年以上経っています。それから日高川町は阪和自動車道、大洲町は松山自動車道、西会津町は磐越自動車道が町内を通っています。しかし、吉野町には高速道路はありません。開発をしていくためには、ビジョンやきつ</p>

	<p>けを与えていただかないといけません。私が感じたのは、便利な交通アクセスがないとしんどいと思います。有識者委員もおっしゃったように、最初は駄目でしたが、徐々に意識が変わり、発展していきます。</p> <p>大規模に工場誘致ができれば、意識が変わり発展しますし、工場が建たなくても、吉野町には、吉野山を中心に大きな文化遺産などがあり、他の地域にはない、この地域独特の良さがあります。</p> <p>しかし、現状では竜門地区に庁舎を移すメリットはありません。ただ、空いた耐震建築の旧校舎があるだけで、なぜ庁舎を持っていくのでしょうか。有識者委員は都市計画を見直すことは難しいとおっしゃいますが、知り合いの公務員に聞くと、「変えられるが、すぐは変えられない。しかし5年、10年、20年掛けたら変えられる」と言っていました。</p> <p>そういうことも踏まえ、高速道路を誘致し、竜門地区の価値を上げながら、上市地区と竜門地区を車の両輪のようなイメージを持つことも必要ではないでしょうか。前回の金野委員の発表を聞かせていただいて、そのようなまちづくりは、本当にいいなと思いました。</p> <p>それからもう一つは、大和上市駅です。今年の正月に、子どもが里帰りするからと大和上市駅へ迎えに行きました。1月2日の11時半ごろの吉野行の電車はほぼ空でした。吉野神宮があるにも関わらず、なぜでしょうか。また、4日15時ぐらいに吉野神宮に参りましたが、お参り客はほとんどおられませんでした。もっとお参りして欲しいと思いますが、鉄道だけでは、限度があるかもしれません。交通手段は大事だと思います。</p> <p>要するに、鉄道を生かすには知恵を出してやっていかなければいけないと思います。一筋縄ではいきませんが、心してやらなければいけません。</p> <p>それから竜門地区の活性化の方法も考えながらです。私は30年後に吉野町が限界集落として潰れて欲しくありません。この土地に先人が住み、長年住み続けていますし、これからはいろいろな人に住んで欲しいと思うので、何かいい手を考えられないかと思います。</p> <p>そういう意味では、次の世代への第一歩となる新庁舎にしてほしいと思います。先程西浦委員がおっしゃったように、20年、30年後も考えながら、役場や議員にしっかりと絵を描いていただいて、町長をはじめ、副町長らがしっかりと交渉をして、いろいろな方策を考えて吉野町が活性化できる道筋を付けて欲しいです。</p> <p>丹波篠山をはじめとした4つの市町村も大いに参考になると思います。私は、吉野町が他の地域よりももっといいところだと思いますので、このブランドをもっと発揮させていただきたいと思います。</p>
中川委員長	<p>議論的を絞っていきたいと思います。そろそろA or Bの話ではなくなってきていると思います。これをチャンスとして町の活性化につなげられるのではないかというお話を金野委員にさせていただきましたが、それは近代産業や工業社会</p>

	<p>型の活性化ではなかったと思います。むしろ物を磨き抜く、歴史を磨き抜く、その中に新たな価値を創造していく丹波篠山の経験を濃厚に教えていただいたと思います。吉野町はその対象として非常に適している、ベストフィットしていると私はイメージしました。</p> <p>そういう意味では、辻委員がおっしゃっているような活性化を、町は磨き抜くことが大事だと、おっしゃったのではないかと思います。その観点から考えると、上市地区は、役場がある・なしに関わらず、大きな歴史的なストックを持っています。その磨き方に関して新たな戦略を考えるという積極的な取組みをすれば良いのではないのでしょうか。つまり、庁舎がある・なしのインパクトを超えているような気がします。上市地区の値打ちは、その程度ではないだろうと思います。その論点でもう1つ材料を用意して欲しいと思うことは、役場にお越しになる方のデータです。これは、一度出しましたか。</p>
<p>事務局 (辻中課長)</p>	<p>出しております。</p>
<p>中川委員長</p>	<p>皆さん、もう一度見ていただき、それが上市地区におけるどの程度の乗降客のインパクトであるかを再認識した上で考えられたらどうでしょうか。そうすると集中移転と今の役場機能をそのまま移転するならば、その分が他へ移ることは論理的に成り立ちますが、分散型であれば、何割ぐらいしかとどまらないと、明確にイメージできるのではないのでしょうか。</p> <p>All or Nothing で考えると、この話は縮こまってしまうような気がします。</p> <p>だから、「分散か、集中かという話」と「多極型か、一極型かという話」を整理しましょうと私からお願いしました。</p> <p>論点をもう少し、パラグラフを整理する作業を次回やりませんか。その上で、それを踏まえた皆様のご意見を頂きたいです。それを無視したご意見でなく、それを踏まえて、なおかつ私はこう思うというご意見を賜るような段階に入りたいと思います。</p> <p>それから歴史的な価値という点が議論をされていますが、この点は、上市のみならず、国栖に関しても深いものがありますし、地域ごとにあると思います。</p> <p>ですから、それなりの取組みの基本方針のようなものを行政も考えていただけたらと思います。特定の地域だけを対象に考えるのではなく、町全体のベーシックな基本方針として、今後こうしていきたいと思うことを示していただけたら、皆様も元気が出るかという気がします。今までの内容で、ここで答えられることがあれば、事務局からお答え下さい。</p>
<p>事務局 (辻中課長)</p>	<p>今までの内容で、幾つか宿題を頂いているものは、次回ご用意させていただきまします。現庁舎の分散設置状況で、整理してからになります。立地的にそこへ行かざるを得ないというものがあります。例えば、吉野町クリーンセンターや美吉野環境ステーション等は、その場所に施設がありますので、行かざるを得ない状況はお分かりいただけるかと思います。整理するのは、健やか一番館に長寿福祉</p>

	<p>課が行くことになった経緯だと思います。また、それが行くことにより、どういう不具合や、それを解決するために役場がどのようなことをしているかについて、次回お示しします。</p> <p>他にも用意して欲しいということがありましたら、ご連絡を頂いたら、準備させていただけたらと思います。</p>
中川委員長	<p>それと先程お願いしたことは、例えば、町民対応を必要とする窓口業務の職員が、東委員からご提起があったような、機材やネットを使いこなせば、どのような執務環境があれば、好ましいと思っているかについて、インタビュー調査して欲しいとありましたので、これもお願いします。</p> <p>実際に体を動かして現場に行かなければいけない業務やカウンセリングをするだけで済む業務もあるかもしれません。税務相談窓口等が当てはまると思います。そういうものを整理し、ネットを駆使すれば上手くいくのか等を共通整理した上で、庁舎議論を深めていきませんか。</p> <p>それでは辻委員が発言を希望ですので、どうぞ。</p>
辻委員	<p>次回が第6回目で最終になります。</p>
中川委員長	<p>私は、最終と思っていません。</p> <p>もし必要ならば、回数は増やしてもいいと思います。</p>
辻委員	<p>我々で旧吉野北小学校を見学し、中がどうなっており、どういう造りかを見る機会があればいいなと思います。実際に行き、住民目線で見てみたいです。そのような機会を設けていただけませんか。</p>
中川委員長	<p>審議会1回を使ってやるのは、問題があるかもしれませんので、事務局でご判断をしていただかなければいけません。場合によっては、ご希望の方を選抜して、バスで現場に行ってもらうように斡旋できませんか。</p>
事務局 (辻中課長)	<p>見学の件ですが、いつでも見に行っていただけるのですが、役場の職員が付いて随行するような形になります。次回審議会までに、見学可能日をご連絡させていただき、希望時間帯を伝えていただいた上で、随行して見学する形を取らせていただきます。もしくは、この時間帯にここへ来て下さいという形でも構いません。事務局で調整して、委員の皆様にご連絡させていただきます。</p>
中川委員長	<p>それでは平野委員、どうぞ。</p>
平野委員	<p>質問ですが、先程北岡委員からお話がありましたが、私どもが聞いた話では、『吉野小学校』の活用は、民間活用されるという内容でした。具体的な詳細は公表されていませんが、その民間活用と役所がコラボレーションし、一緒に『吉野小学校』に新しい役所を作ることができないか、確認をしておく必要があると思います。『吉野北小学校』に決めてしまうのではなく、庁舎移転先の候補として『吉野小学校』の可能性のあるのかを含めて、検討する必要があると思います。</p>
中川委員長	<p>吉野小学校の活用については、どの程度まで説明がありましたか。</p>
事務局 (辻中課長)	<p>吉野小学校については、第1回審議会でお話をさせていただいたと思います。民間活用の方針で、議会でも承認されましたので、審議会では検討しません。</p>

	<p>吉野小学校は、民間利活用で別途動いている、とご理解していただけたらと思います。</p>
北岡委員	<p>おっしゃったことは理解をしています。</p> <p>ただ上市の活性化を考える上で、吉野小学校がどういう姿になるのか想像ができる範囲まで現れてこない、本当の議論が出来ません。</p> <p>それから議会でも話がありましたが、ヘリポートをどうするかです。これも単なる民間活用の範囲を超えていますので、この議論が進まない結論が出にくいと思います。</p>
中川委員長	<p>庁舎整備と議論が異なりますので、今の内容について、答えられる範囲で答えてもらえれば結構です。</p>
事務局 (辻中課長)	<p>先日の議会等でもお話があったように、これからプロポーザルを行い、民間活用されます。別の部署が動いていますが、どういう条件を付けて行うか検討している最中に、ヘリコプターの発着も考慮に入れることを議会で説明されていたと思います。この件について、私が今、代わって言うことが難しいので、これぐらいでお願いします。</p>
中川委員長	<p>それでは、この件について庁舎検討の議論の中で、出たことは出ましたが、今後の議論の対象にしないことをお願いします。</p> <p>他にご意見はありますか。澤木委員、どうぞ。</p>
澤木委員	<p>蒸し返すわけではありませんが、前回金野委員から町全体がこれからどういう可能性を秘めているのかという、すごく夢のある提案を頂いたと思います。その時、私も「吉野小学校を忘れていませんか」と発言させていただき、金野委員から「併せて考えましょう」と言っていただきました。</p> <p>審議会における庁舎整備は、移転だけでなく、その後吉野町がどのような町になっていけばいいのかを大きく捉えて、先程西浦委員がおっしゃったように、長期的に考える中で、吉野小学校が、庁舎がどうこうという話は別として、民間活用という言葉も曖昧で、私も不安を感じています。これは、町がどうなっていくかという中に、必ず無視できない話です。役場がどうなる、そして吉野小学校跡地がある上市という位置、町がどうなっていくのかです。先程内仲委員からもありましたが、私も町民になってまだ日は浅いですが、上市という場所は、大事な場所だと思います。その中で吉野小学校の存在は無視できません。むしろ、吉野小学校の存在を大事にし、総合的に考えなければいけないと思います。</p> <p>「この審議会の議題ではありません」ではなく、それも含めて、これから町がどうあるべきかを考えた上で、だからこそ庁舎はこうしましょうというまとめの方向にならなければ、いろいろな立場の町民が納得できる答えを出せないと思います。そこがとても気になります。</p>
中川委員長	<p>この件は、金野委員のお話から皆様が刺激を受けたかと思いますが、金野委員にお答えいただくものではないと思います。これについては、行政当局が答えるしかありません。ただ、ここは総合計画審議会でも、都市計画審議会でもないので、</p>

	<p>「～だから庁舎がどうあるべきか」に付随した議論として触れるまでは OK という程度でお答えをさせていただきますか。このことについて、中心的に議論をする場ではありませんので、それは確認をしておいて下さい。</p>
和田副町長	<p>オブザーバーですが、委員の皆様から、様々なお話を頂きました。ありがとうございます。確かに吉野小学校については、議会で先般、予算を認めていただきました。あくまでも民間活用ということですが、地域が元気になるまちづくりの方向性で、募集要項をこれから交付されると思います。その条件の中に防災面や、ヘリポートもあったと思います。</p> <p>あと地域が元気になることを基本的なスタンスとして、民間企業が持つ様々なノウハウを生かしていただき、公募させていただき、それを審査会で、学識らも含めて検討した中で、最終判断をする形になっています。公募されたらオープンになると思いますが、あくまでも地域の活性化を含めて進めさせていただき、民間企業から提案していただく予定です。ご理解をさせていただきたいと思います。</p>
中川委員長	<p>それでは今の議題に限らず、他に発言をしておきたい方がおられますか。辻委員、どうぞ。</p>
辻委員	<p>本日の審議会で、集中型・分散型等についていろいろ考えてきました。資料を見せていただき、庁舎を分散するメリットとして、地域が活性化する、あるいは住民に安心感を持たせるとか、住民の要望が聞けるとありますが、実際には地区ごとに自治会長や区長がいます。近況や困りごと等はすべて自治会長らが把握し、必要に応じて区長会で報告し、町へもお願いしたりしています。その辺の行政サービスは、実際には自治会長らがこなし、区長会がありますので、心配は全くないと思います。それから郵便局でいろいろな行政サービスの書類が発行できます。今までにない便利さだと思います。</p> <p>先人がいいシステムを考えてくれていますので、お金を安く、経費の負担を小さく、また職員の業務負担も小さくなっています。新庁舎を1ヶ所に集中すれば、これまでどおり負担は小さいです。</p> <p>今後も職員が入れ替ります。現在は特に高齢な職員が多いので、一斉退職時に、多くの若い子が入庁します。庁舎が分散しておれば、十分な研修もできませんので、庁舎の集中的なことを視野に入れていただきたらと思います。</p> <p>それからもう一つ、4月1日からの暮らし環境部等の移転先のお知らせの資料を区長会で頂きました。読んでも、どこに何があるのか高齢者には分かりにくいです。どこへ行けばいいのか、その都度、電話で聞かなくていいように、分かりやすく庁舎を集中していただければと思います。我々自治会長でも、どこへ行けばいいのか分からないというのが現状ですので、そういう問題点を考えていただけたらと思います。</p>
中川委員長	<p>では、平野委員どうぞ。</p>
平野委員	<p>話が変わりますが、とても大切な意見です。</p> <p>私は22年間、『公益社団法人日本サインデザイン協会』に加盟して活動してい</p>

	<p>ます。危惧していることは、この審議会と直接関係がないかもしれませんが、吉野町の「環境美・景観の問題」です。「吉野町は世界遺産」です。</p> <p>現在、美しい吉野町として、古い町並みの景観が維持されているのか疑問です。今後、古い建物が建て変わることで、新しい政策で街の姿が変わること、外部の民間活用をしていくことで、違和感のある建物が出る可能性があります。</p> <p>私どもの有力なデザイナーは、東京、名古屋、京都、金沢、富山、博多、札幌等、全国で、美しい景観につくりの活動をして実績を上げています。</p> <p>奈良県や吉野町は、景観に関する条例や規定がないと思います。私は、今後の政策による「環境美・景観の悪化」を心配しています。</p> <p>ですから、この議論と並行するような形で、この審議会とは別ですが、吉野町の色彩計画、建物の高さや形状、看板等の規則について、十分に検討し条例化する必要があると思います。</p> <p>私は早急に専門家を組織し、進めて欲しいと強く思います。私も自分の経験と実績から、参加させていただきたいと願っています。</p>
中川委員長	<p>ご希望として承ります。それではひと通り、ご意見を頂いていると思いますが、後々の材料や宿題を皆様にご理解していただけたと思います。</p> <p>本日オンラインで参加して下さっている杉中委員、東委員、一言ずつコメントをいただけますか。まず杉中委員、どうぞ。</p>
杉中委員	<p>話がだいぶ煮詰まってきたと思います。次に向けて、まとめをいただけるということですので、それに期待させていただきます。</p>
中川委員長	<p>では、東委員どうぞ。</p>
東委員	<p>職員の意見を聞こうという提案を受け止めていただきありがとうございます。</p> <p>関連して追加の提案になりますが、オンライン手続きや今年3月から郵便局で手続きが出来るものが増えたと思います。現状どのくらい使われているのか、また郵便局であれば、局員が対応されていますので、戸惑っていることがないのか、こういうことが出来て良かったこと等をお調べいただければと思います。</p> <p>これらの延長線上に、今回検討している「これからの行政サービス」が変わる一里塚的なものが恐らく出てきていると思いますので、実態をきちんとおさえるためにも、併せて整理をご検討いただければありがたいなと思います。</p>
中川委員長	<p>東委員のおっしゃることは当然のことで、それも検討するということでお約束して下さい。</p> <p>それでは、次に向けた作業を確認したということで、一旦閉じたいと思います。まだ答申も出ていませんが、現在、並行して議会の議論は始まっていますか？</p>
事務局 (辻中課長)	<p>庁舎整備に関しては、審議会の意見を待っている状況です。議会で特別委員会を立てられていますが、まだ審議は進んでいません。</p>
中川委員長	<p>わかりました。これは、審議会の委員全員のご要望になるかと思いますが、審議会の議論は全て公開されているはずですので、それを踏まえた議論をお願いしたいと思います。折角これだけ熱心に議論し、論点も整理していますので、</p>

	<p>それを踏まえて下さることは、誠実な態度として期待できると私は思いますので、全然聞かないという議論にならないようお願いしたいと思います。</p> <p>また「庁舎がなくなるのは寂しい」というような感情的な議論があまり存在しなくなりました。むしろ、「実態がよく分かった」、「理解が深まった」と皆さん仰っていると思います。それでも尚まだ疑問があり、その疑問を潰していくためにもう少し回数を使えないかということに依じるのが行政の立場だと思っておりますので、そのような思慮・疑問の解消ができる審議会にしていきたいと思います。</p> <p>まとめに入る段階になっておりませんが、本日の審議はここまでとします。</p> <p>事務局から連絡事項がありましたら、どうぞ。</p>
4. 閉会	
<p>事務局 (村上)</p>	<p>中川委員長、並びに委員の皆様方、長時間にわたる意見交換、誠にありがとうございました。</p> <p>また中川委員長におかれては、議事進行、誠にありがとうございました。</p> <p>続いて「次第5 次回以降の審議会の日程」についてご連絡します。</p> <p>第6回審議会 令和6年4月25日(木)午後2時からの開催を予定しております。</p> <p>先程中川委員長のお話にもありました審議会の回数を1回増やす件について、第6回審議会を最終回の予定でしたが、皆様のご了承をいただけるのであれば、5月に第7回審議会の開催に向けた日程調整をさせていただきます。</p> <p>また吉野北小学校見学の日程調整も必要となりますので、併せて調整させていただきます。委員の皆様のご理解・ご協力のほど、宜しくお願いします。なお、開催案内につきましては、改めまして別途通知させていただきますので宜しくお願いします。</p> <p>それでは、これをもちまして「第5回吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会」を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>

以上